

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基盤	単位	3	時間	90
科目	物理学	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的	医療や人体に関連した物理現象を通し、物理学の基礎知識と物理的な思考を学ぶ						
方法	講義	評価方法	筆記試験				講師
学習目標	授業内容						
物や人が安定する共通の要因を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 単位・重力について 2. 力ってなに？ <ol style="list-style-type: none"> 1) スカラーとベクトル 2) 力のつりあい 3) ベクトルの足し方と分解 3. 力の法則 <ol style="list-style-type: none"> 1) ニュートンの運動の法則 2) 摩擦の力 3) 力の単位 4. トルク・トルクの応用 <ol style="list-style-type: none"> 1) てこの原理 2) 静止するための条件 3) 担架をもつとき 5. 重心と安定 <ol style="list-style-type: none"> 1) 腰を曲げたときにかかる力 2) ボディメカニクスの中の物理 						大学准教授 理学博士
流体による圧力の作用を知り、看護の基礎技術がどのような作用機序に基づいて行われるのかを理解する	<ol style="list-style-type: none"> 6. 流れの物理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 圧力 2) 気体の法則 3) ドレナージ 4) サイホン 5) 流体の摩擦 7. 点滴の物理 8. 血圧測定 of 物理 						
テキスト: 完全版 ベッドサイドを科学するー看護に生かす物理学ー, 学研 参考書: 看護学生のための 物理学第4版, 佐藤和良著, 医学書院 ベッドサイドに生かす 単位・量・数式のはなし, 平田雅子著, Gakken							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基盤	単位	3	時間	90
科目	論理学	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的	医療者に必要な、事象を論理的に思考して客観的に評価することや、状況に応じた科学的思考をすることができる。また、文章を論理的に表現するための基礎を身につける。						
方法	講義	評価方法	課題、筆記試験				講師
学習目標	授業内容						講師
論理学を学ぶ意義を理解する	イントロダクション 1. 論理学の対象、主観的な関係と客観的な関係 2. 日常的な論理的思考と論理学						大学院研究員 大学講師 博士(文学)
論理学の基礎を身につける	命題論理学 3. 論理学の用語の導入 4. 日本語の実質的な含意と記号化 5. 推論規則(1)肯定式、否定式、選言三段論法、仮言三段論法等 6. 推論規則(2)四つのディレンマ						
確実に言い得ることは何かを理解する	述語論理学 7. 全称命題、特称命題、単称命題 8. 矛盾と整合						
論理学と実践的な課題との関連性を理解する	帰納論理学 9. 枚挙的帰納、類推(アナロジー)、アブダクション 10. 帰納と演繹 11. 仮説、法則、理論、仮説演繹法(1) 12. 仮説演繹法(2)、仮説演繹法と看護過程 13. 科学に期待される説明、予測、応用						
自身の価値の表現のために論理学を用いる	論述文 14. 論述文の基礎(1)形式と内容 15. 論述文の基礎(2)注意事項と評価の実際						
テキスト:『論理の基礎と活用』、内田詔夫(著)、北樹出版 参考書:『「科学的思考」のレッスン』、戸田山和久(著)、NHK出版 『はじめよう、ロジカル・ライティング』、名古屋大学附属中学校・高等学校国語科(著)、ひつじ書房							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	3	時間	90
科目	情報科学	単位	1	時間	30	進度	2年次前期
目的	情報科学の基礎を理解し、コンピューターを用いた情報収集、整理、統計処理について学ぶ						
方法	講義・演習	評価方法	筆記試験・レポート				講師
学習目標	授業内容						大学教授 心理学博士
情報科学の基礎を理解する	1.情報科学の基礎 1)情報科学とは 2)情報科学の必要性 3)情報と情報処理						
統計処理の概要を知る	2.統計処理の概要 1)統計処理とは 2)統計処理の分類						
情報処理におけるコンピューターの安全な利用方法を理解する	3.コンピューターと情報科学 コンピューターの利用と情報のセキュリティ						
インターネットの基礎的知識を理解する	4.インターネットの利用 1)インターネットとは 2)インターネットを利用したアプリケーション						
パソコンを用いた情報の表現方法を学ぶ	5.情報を表現する 1)パワーポイント 2)グラフ 3)表計算						
看護における情報の必要性を理解する	6.看護情報学への応用 インターネットを用いた学習と研究						
テキスト:適宜資料を配布 参考書:適宜関係図書紹介 資料配布							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	社会学	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的	社会の構造と集団・組織・ネットワークを理解し、社会の変遷と現代社会の様々な問題を知り、今後の動向に眼を向ける習慣を身に付けることの必要性を学ぶ。また、社会の中で生活している人間を医療・経済・産業の面からも捉え、社会のシステムから現状や問題等を思考する力を養う						
方法	講義	評価方法	筆記試験				講師
学習目標	授業内容						大学教授 社会学博士
社会の機能と構造の変化を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会と人間 社会学とはなにか(社会的存在としての人間) 2.社会病理の診断 <ol style="list-style-type: none"> 1)自殺 2)自由からの逃走 3)孤独な群集 3.社会学の視点～潜在的機能 						
医療と看護に関する諸問題を社会学の立場から考察する	<ol style="list-style-type: none"> 4.医療と看護の社会学 <ol style="list-style-type: none"> 1)近代西洋医学のパラダイム 2)病気と死の社会学 3)病院と患者の権利 4)医療化・専門化と医療・看護のイデオロギー 5.医療・看護と社会的想像力 						
テキスト:適宜資料の配布 参考書:看護学生のための日本看護史. 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 社会学. 医学書院							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	心理学	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的	人間の一般的な心理・行動の原理・原則を知り、対象の理解や対人関係に必要な基礎的知識を学ぶ						
方法	講義	評価方法	筆記試験・レポート				講師
学習目標	授業内容						大学教授 教育学修士
人間が環境に適応するために必要な機能の働きを理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1.心理学の基礎と日常生活 2.感覚・知覚の心理 3.記憶の心理とそのメカニズム 記憶のしくみ 4.思考の心理 <ol style="list-style-type: none"> 1)思考・想像の心理 2)言語の心理 5.人間の知的能力とは 6.学習行動とその関連要因 7.感情動機の心理 <ol style="list-style-type: none"> 1)感情情緒 2)動機欲求 8.適応の心理 <ol style="list-style-type: none"> 1)人と環境 2)ストレスとコーピング 9.性格の心理と性格検査 <ol style="list-style-type: none"> 1)性格の形成 2)性格の理解 						
集団の構造を知り、集団の心理の基本を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 10.集団の心理 <ol style="list-style-type: none"> 1)集団の形成と機能 2)集合行動 3)グループ・アプローチ 						
発達段階の特徴を知り、対象に応じた対応の仕方を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 11.発達の心理 <ol style="list-style-type: none"> 1)発達の原理 2)発達段階の特徴 						
コミュニケーション技術に活用できる援助方法を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 12.カウンセリング <ol style="list-style-type: none"> 1)カウンセリングの意義 2)カウンセリングの方法 						
テキスト:看護学生のための心理学第2版. 医学書院 参考書:よくわかる心理学. 無藤隆. 他(編). ミネルヴァ書房 心理学で何がわかるか. 村上宣寛. ちくま新書							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	教育論	単位	1	時間	30	進度	3年次前期
目的	教育の意義と本質を知り、人間的成長を促すための効果的・意図的な関わりを学ぶ						
方法	講義	評価方法	筆記試験・レポート				講師
学習目標	授業内容						講師
教育の基礎知識を理解する	1.教育とはなにか 2.教育の歴史と変遷 3.教育制度						医師
教育が行われている場を理解し、教育についての今日における問題点を考察する	4.家庭における教育 5.学校における教育 6.社会における教育						
事例をもとに個人・家族・集団を対象とした教育・指導の実際を理解する	7.看護における教育 8.健康教育と指導 9.教育・指導の評価						
テキスト:系統看護学講座 基礎分野 教育学. 医学書院 参考書:適宜関係図書紹介 資料配布							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	人間関係論	単位	1	時間	30	進度	2年次後期
目的	対人援助に欠かすことのできない人間関係形成に必要な基礎知識、技術及び望ましい態度を学ぶ						
方法	講義	評価方法	筆記試験				講師
学習目標	授業内容						大学教授 社会学博士
人間関係の基礎知識を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1.人間存在と人間関係 <ol style="list-style-type: none"> 1)社会的存在としての人間 2)看護ケアや社会福祉援助における人間関係 2.社会的相互作用と社会的役割 3.コミュニケーション <ol style="list-style-type: none"> 1)コミュニケーションの障害 2)援助的コミュニケーション 4.人間関係の研究と応用 						
看護における人間関係の諸相を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 5.体験による学習効果と人間関係の体験学習 6.家族の人間関係 <ol style="list-style-type: none"> 1)近代 2)日本 3)現代 7.看護における人間関係 <ol style="list-style-type: none"> 1)保健医療チームの人間関係 2)闘病生活を支える人間関係 3)終末期の患者と家族を支える人間関係 						
テキスト: 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論. 医学書院 参考書: 人を育む人間関係論－援助専門職者として、個人として－. 医学書院							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	倫理学	単位	1	時間	30	進度	2年次前期
目的	医療の発展や生命科学の進展によって生じている、人間の生命や医療に関する倫理(哲学的、社会的問題について、医療者として、患者・家族として、社会の市民として考え、自分自身の考えを根拠とともに表現できるようになる。						
方法	講義	評価方法	課題、筆記試験				講師
学習目標	授業内容						講師
医療者が倫理学を学ぶ意義を理解す	1.イントロダクション ヒトと人、事実と価値との違いについて考える。						大学研究員 大学講師 博士(文学)
倫理学の考え方、概念、理論を通じて、自己(医療者)と他者(患者・家族)との違いを理解す	2.自己理解 自分とはどのような存在であるかについて考える。 3.原則の倫理と徳倫理 自分は「どうすべきか」と「どうあるべきか」との違いについて考える。 4.他者理解 自分と他者はどのように違うのかについて考える。						
人間の生命、尊厳、権利、医療等に関する倫理的諸問題を理解し、自分自身の考えを表	5.生殖医療と優生思想 子どもを産むために、どこまで医療を用いてよいかについて考える。 6.人工妊娠中絶 子どもを産むことと、産まないことについて考える。 7.健康と医療化 他者より賢くない、強くない、美しくないことについて考える。 8.老化と寿命 不老不死は望ましいことなのかについて考える。 9.幸せと病の告知 幸せであるとはどういうことなのかについて考える。 10.人生の最終段階 映画を観て、終末期患者の人生観や終活について考える。 11.インフォームド・コンセントと意思決定 パターンリズムと患者の自己決定について考える。 12.脳死と臓器移植 ヒトの死と人の死は違うのかについて考える。 13.安楽死 患者が望むなら、死なせてあげるのがよいのかについて考える。 14.先端医療の倫理 再生医療、遺伝子医療等における倫理的懸念について考える。						
看護職に求められる公的および倫理的実践や態度を理解する。	15.看護の倫理 看護実践における義務、責任、責務、倫理的概念について考える。						
テキスト:なし(レジュメや資料を配布します) 参考書:『マンガで学ぶ生命倫理』、児玉聡(著)、化学同人 『入門・医療倫理 I [改訂版]』、赤林朗(編)、勁草書房							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	英語 I	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的 看護場面に必要な日常英会話と専門医学英語の基礎知識を学ぶ							
方法	講義・演習	評価方法	筆記試験			講師	
学習目標	授業内容						
臨床看護に英文によく出る基本文形や語録を理解する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨地の中で使う英文 <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本文型 2) 正しい発音 2. 英会話の実践 <ol style="list-style-type: none"> 1) ペアを組んでの会話 2) ロールプレイング 3. 看護に関連する単語・慣用句 <ol style="list-style-type: none"> 1) 身体各部の英語名 2) 医療用具の英語名 3) 看護用語 					大学講師 教養学士 政治学修士	
主体的な言語活動を身につける							
看護に関連する単語や慣用句を理解する							
テキスト: クリステーションのやさしい看護英会話. 医学書院 参考書: 適宜							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	英語Ⅱ	単位	1	時間	30	進度	1年次後期
目的	国際社会に対応するための英語の読解力、コミュニケーション能力を養う						
方法	講義・演習	評価方法	筆記試験				講師
学習目標	授業内容						大学講師 教養学士 政治学修士
英語による対話を方法を身につける	1.ダイアローグ 1)語句 2)英語での表現						
主体的な言語活動を身につける	2.コミュニケーション 1)あいさつ 2)日常生活で役立つ会話 3)看護場面で役立つ会話						
テキスト:クリスティーンのやさしい看護英会話. 医学書院 参考書:適宜							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	体育	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的	心身の健康の必要性を理解し、主体的に健康の維持増進を図るための能力と技能を養う						
方法	演習	評価方法	実技試験		講師		
学習目標	授業内容						スクールマスター 高等学校教諭一種教員免許(保健体育)
基礎的な体力づくりの方法を身につける	1.基礎体力づくり 1)準備体操 2)ストレッチ						
競技を円滑に運営するための基礎を身につける	2.運動についての知識の理解 1)各運動の特性 2)自己の目標・集団の目標の設定 3)競技の中での目標(個人・集団)設定・作戦・ゲームの工夫 4)競技の運営やルール・審判の方法						
競技を行うための基礎技術を身につける	3.各競技の中で、個人技能・集団技能の活用						
テキスト:適宜資料を配布							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	保健体育	単位	1	時間	15	進度	3年次前期
目的	豊かな感性・協調性・表現力・創造力を育む上で、主体的に自己の健康管理を目指し、体力の維持と健全な心身を養い明朗性・リーダーシップ性を学ぶ						
方法	演習	評価方法	実技試験				講師
学習目標	授業内容						スクールマスター 高等学校教諭一種教員免許(保健体育)
基礎的な体力づくりの方法を身につける	1.基礎体力づくり 1)準備体操 2)ストレッチ						
適度な運動療法について理解することができる	2.健康の維持増進における運動の必要性 3.運動方法と量 4.自己の運動量測定 5.運動プログラム計画・実施・評価						
レクリエーション活動を実施することができる	6.レクリエーションの意義 7.レクリエーションの企画・運営 8.レクリエーションの実施・評価						
テキスト:適宜資料を配布							

基礎分野

分野	基礎分野	教育内容	人間と人間生活の理解	単位	10	時間	285
科目	地域の環境	単位	1	時間	30	進度	1年次前期
目的	地球規模の環境問題についてその概要と原因について学び、身近な河川の水質や大気を調査し、現状を知る。各自の生活を基にその対策を考える能力を養い、行動する態度を身につける						
方法	講義・演習	評価方法	筆記試験・レポート				
学習目標	授業内容						講師
環境問題の意義と環境活動の歴史を理解する	1.環境問題理解のための科学的基礎知識 1)化学的分野・生物学的・物理学・地学的分野 2)生物学的分野 3)物理学的分野 4)地学的分野						高等学校教諭 一種教員免許(理科)
環境問題の概要を理解する	2.環境問題の現状 1)地球環境 2)日本 3)本県						
限りある資源の将来と問題の対策方法を理解する	3.エネルギーなどの資源の将来とその対策 1)地球・本県の温暖化現象の原因と防止対策 2)家庭ゴミ・産業廃棄物の現状と問題点 3)ゴミの減量化対策 4)日常生活を振り返って環境問題を考える						
身近にある環境の実際を体験を通して理解する	4.観察 1)河川の水質調査 2)大気汚染測定 3)植生の調査 5.食品管理および家庭用品 1)食品安全確保対策 2)食品衛生管理制度 3)家庭用品の安全対策						
テキスト: 適宜資料を配布 参考書: 地球環境学入門. 山崎友紀. 講談社							